

対応状況報告書

大 学 名： 新潟大学

評価実施年度： 令和3年度

報 告 年 度： 令和5年度

対象となる基準	基準5－3
改善を要する点	○自然科学研究科博士後期課程において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。
対応状況	・自然科学研究科博士後期課程：0.709倍（令和元年度～令和5年度）と改善されている。 自然科学研究科博士後期課程の入学定員充足率の改善に係る取組として、以下の取組を行っている。 1. PhDリクルート室における博士課程進学者獲得に向けた取組 新潟大学における博士課程進学者獲得策の推進、大学院在籍学生のキャリア支援等を目的として令和2年4月1日付けでPhDリクルート室を設置し、次に掲げる取組等を行っている。 (1) キャリアマネジメントセミナー (2) 大学院生のためのキャリアセミナー (3) PhDリクルートフォーラム 2. 自然科学研究科における博士後期課程進学者獲得に向けた取組 自然科学研究科の博士後期課程進学者獲得の推進を目的として、自然科学研究科において次に掲げる取組等を行っている。 (1) 独立行政法人国際協力機構（JICA）研修員の受入れ (2) 進学情報フォーラムの開催 3. 「新潟大学における大学院改革に向けた基本方針」の策定 大学院課程における定員充足率の改善や社会ニーズを踏まえた教育プログラムの構築など、大学院教育の改善の方向性を示した「新潟大学における大学院改革に向けた基本方針」を令和5年3月10日付けで策定し、本方針に基づき大学院教育の実質化が進められている。

	【根拠資料・データ】 ・ 認証評価共通基礎データ【自然科学研究科】 ・ 5_3_1_04_キャリアマネジメントセミナー（チラシ） ・ 5_3_1_05_大学院生のためのキャリアセミナー2022 企業就職編開催報告 ・ 5_3_1_06_第6回PhDリクルートフォーラム開催報告 ・ 5_3_1_07_JICAとの連携事業 Collaboration with JICA ・ 5_3_1_08_進学情報フォーラム（チラシ） ・ 5_3_1_09_新潟大学における大学院改革に向けた基本方針
--	--

(注)

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的な内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。
4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。